作成・更新日 2024年6月28日

事業名	佐野市ス	スポーツ推済	進委員協議会活動支援事業	実施計画事業or一般事業	—f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情報											
担当組織	部	産業文化スプ	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し	
	課	スポーツ推進	課	─ 佐野市スポーツ推進委員協議会活動支援事業	予算	款	10	新規or継続	継続	事業	
	係	市民スポーツ	係		科目	項	5	市単独or国県補助	市単独	虫事業	
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	り事業	
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	・ 佐野市スポーツ推進基本計画	事業	開始年度	H18	実施方法	直	営	
以外件水	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市スポーツ推進委員規則	期間	終了年度		事業分類	支援事業		
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	在1000mm 为正是安央办法3							

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

スポーツ推進委員協議会に交付金を交付し、協議会が自主的に事業を企画運営するための活動資金を支援する。

(2)目的

事業概要

(3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

スポーツ推進委員が活動するにあたり協議会を設置することにより、 その活動が円滑に進められることを目的として支援する。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30
協力事業数		2	4	7	7	7

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
(R 5 年度に 行った主な活		定例会		11	11	11
	総会、定例会の開催	自主事業数		1	1	1
	市民ハイキングの実施(自主事業)					
	ニュースポーツの推進(サイカツボール)	事業費計	千円	650	1,250	1,250
動内容)	市主催事業(スポーツ関係)等への協力	一般財源	千円	650	1,250	1,250
		特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

月1回の定例会開催により、情報の共有化が図られ、市民一人1 スポーツの推進が図られる。

	划 果指標	単位	K3	K4	K5	指標の性質	R4とR5の比較
	スポーツ推進委員	人	26	26	25	値が大きいほど良い	効果が下がった
\ 1	協力事業数		1	1	7	値が大きいほど良い	効果が上がった

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し				
効果	効果が上がった指標数	1指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	1指標				
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない				

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

協力事業等において、委員により参加率が異なることから、積極的な参加を促す必要ある。

()	上記反省点及び課題を踏まえた、	$\Delta m \in \mathcal{L} \oplus \mathcal{L} \cap \mathcal{L} \cap \mathcal{L}$	누麻ᄼᄪᄵ
(2)	上記以自以及い誄越を始まんに、	つ他0年反及ひつ他 / ゚	干/曼 の4X社

□ 事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、	受益者負担の見直しなど)
------------	-------------	--------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

☑ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

スポーツ推進委員一人一人の更なる主体的な取組みが必要。

5 类力	<i>/</i> +-⊞マ±-フ	1 +2	坐禾 吕凯罕市 坐	中华1. 一种		n. == **	+=//	=#.\\/+\\	《시 〉 ›››	=#.1/.#51
事業名	作野巾ノ	ハーツ推	進委員設置事業	実施計画事業or一般事業				該当なし		
. +-	±+0			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		~ 개선 나는 / 1 . ㅋ	10	7/5/1-1-W A		A = 1	An.	±**=1 T	W (/
	部	産業文化ス		予算中事業名	7 **	会計		事業計画	単年度	
⊒当組織	課	スポーツ推進		佐野市スポーツ推進委員設置事業		款		新規or継続	継続	
	係	市民スポーツ			科目	項	5	市単独or国県補助		中華業
	体系コード	222		根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	
改策体系	基本目標	_	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	スポーツ基本法	事業	開始年度	H18	実施方法	直	
	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市スポーツ推進委員規則	期間	終了年度		事業分類	審議会等	運営事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 ヴエーションの普及に寄与するため、スポーツ	推進委員を設置する。						
(2)目的	<u> </u>									
\ <u> </u>	,			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				週に1回以上運動している割合	半 位	50.0	43.0	46.0	48.0	
(本事業に	市民のフポ	_\\ , \ ,\/\ T_	-ション活動の推進のため、非常勤特別職と		/0	50.0	+3.0	70.0	70.0	50.0
よって成し			・ションದ動の推進のため、非帯動特別職と 委嘱し、スポーツの振興を図る。							
遂げたい	してスパーク	推進女貝で3								
状態)										
3. 前年度 (1)活重		舌動及び費用	引対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の抽	詳移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
						_				
				スポーツ推進委員	人	26	26	25		
舌動実績										
R5年度に	県主催の実	技指導•研修	冬会に参加した委員への報酬支払							
うた主な活	,,,_,,	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		事業費計	千円	243	426	380		
動内容)				一般財源	千円	243	426	380		
						273	720	300		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					l	
(3)活動	たよる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
				週に1回以上運動している割合	%	42.4	39.2	41.4	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び	フポーツは	4禾昌の姿質	向上は、スポーツの推進に繋がる。							
(圧量及び) 定性)	ヘハ ノゴモル	主女只の貝貝	回上は、人が「少の住庭に来かる。							
ƌ)										
(г) 弗口	コナナナカロコタナロ	日 / 白新州号	=)							
		果(自動判定 財源機減)		× 1 0 FON LOHER - LOUIS		j		効果		Ī
	とR4の一般 効果が上が		費用の増減無し 1指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果は変わらない	が田がてがった	
効果	効果は変わら	らない指標数	0指標		費	費用は下がった	刈木が工がりに	が未は交がつない	が来が トル・ル	
(R5とR4の	効果が下が		0指標		用	費用の増減無し	0			
旨標値増減)		指標全体	効果が上がった		л	費用が増加した				
	をに向けた検 115年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	3等を踏まえた検討課題。費用な	计効果点	a トのための	理語			
/ 13/1	1/XV/J	ントンへいじにはい		- 11/2年 1297年1月1日 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 -	- / / / / / / / /		P11744			
斤たなスポ-	-ツ推進推進	生委員の確保	が検討課題である。							
(2) 上訂	三人	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	_ _					
	事業の在り	方検討 (廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	インルエロル・カコ						
			、、ML、、AMA、文価有負担の兄直しなど) 事務改善の検討							
_			ᆍᄭᄶᆖᄽᆙᄷᇜᆘ							
	事業費の見		の東致み美の投票							
			D事務改善の検討 は継持スは現場の計画通り							

を	/七郎十二	(ポーツ推進審議会運営事業	宇华計画車業。	I,		士巨八約	≣ ≵ ₩+N	⟨⟨⟨⟨¬⟩⟩⟩	=** 117 +>1
尹耒石	1在野巾/	(ハーツ推進番議会連呂事業	実施計画事業or一般事業		般事業 			総合戦略	
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情									
	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
旦当組織	課	スポーツ推進課		予算		10	新規or継続	継続	事業
	係	スポーツツーリズム係	性野川人が一ク推進皆識去建造事業	科目	項	5	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	222 名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	勺事業
	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづく	スポーツ基本法	事業	開始年度	H16	実施方法	直	営
政策体系	政策	2 スポーツを軸とした人々が集まるまちづく			終了年度			審議会等	
	施策	2 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整		رمازدهر	心了十次		于未力权	田既厶寸	庄白于未
	NEW.	∠ 工性へ小 ノ 流気×ヘル ノの収換とヘル ノネスの金		ļ					
(1)事業	美概要	なび (基本計画期間内) 目標値 	並に関する事項を調査審議する ス	ポーツ推	生進審議会(の運営			
事業概要		推審議会は15名以内の委員(令和5年度末時, ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
(2)目的	tı		(3)目標値	_					
(4) 日間	<u>ن</u>			出生	D2	D/	DE	D.C	D.7
目的			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に	_ 10144.	// CT-M A / 10 10 10	審議し改善した取組	%			100	100	100
(本事業によって成し		進審議会にて、スポーツ行政の課題等を審議し、スポー	-ッ						
遂げたい	推進の取組]改善を図る。							
状態)									
,,									
			•						
3.前年 度 (1)活動		舌動及び費用対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及し	が事業費の抽	推移		_	
	第1回会議		活動指標	単位	R3	R4	R5		
			1		_				
		05年11月13日(月)	会議開催	□	3	1	2		
	議事:スポ	ーツボランティアの活用について							
活動実績								ł	
R5年度に	第2回会議								
ナった主な活	日時:令和	🛮 6年3月25日(月)	事業費計	千円	172	81	138	i	
動内容)	議事:さの	マラソンについて	5 11.5 12.1					•	
		・・・・・・・ 6年度スポーツ行政に関する事業計画及び予算につ	一般財源	千円	172	81	138		
	7	10十支が、プロスにはアる子来計画人のコチにア	特定財源(国·県·他)	千円					
								ł	
			(うち受益者負担)	千円					
(2) 汗雨	かによる効果								
(3) 冶里	川による効果					D.4			
	スポーツボラ	シティア制度ついて、ボランティア募集等の各種広報、	活 効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明	動の場の提	示方法など改善に向けた意見をいただいたが検討にと	審議し改善した取組	%			50	値が大きいほど良い	効果が上がった
10001/U	まってしまった								
·		こ。 について、審議会意見によりR6さのマラソンにて、ハー:	17						
ÆIL)			74						
	フソンを実別	西する方針とした。							
/ E \ ## =								_	
		果(自動判定)					41		İ
買用(R5	とR4の一般		※10万円以上の増減により判断			41 000 100	効果	Lumin	
効果	効果が上が効果は変わり				悪田は丁松-た	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果が下が			費	費用は下がった	0			
旨標値増減)	WJ/K/J /J	指標全体 効果が上がった		用	費用が増加した				
	きに向けた検 [] 5 年度の事	ま 討 事業実施における反省点、環境変化や関係者からの	意見等を踏まえた検討課題、費用対	对効果向	可上のための	課題			
, ,		「課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取 方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	粗取組説明						
		と上げるための事務改善の検討							
_	事業費の見								
_		か変化のための事務改善の検討							
	-11373 31-371								

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名	市民駅化	云競走大会	·開催支援事業	実施計画事業or一般事業	— _f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
基本情		*************************************	1º M40	マ笠山市光ク		∧= L	άЛι	古光二五	出左座	(BIN)EI
当組織	部 課	産業文化スポーツ推進	1 11	予算中事業名	予算	会計		事業計画 新規or継続	単年度線 継続	
23組織	酥 係	市民スポーツ		市民駅伝競走大会開催支援事業		項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード			根拠法令、条例等	170	<u>第</u> 目		義務or任意	任意的	
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	IDIACIA (3 CARIO)	事業	開始年度		実施方法	直	
文策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市市民駅伝競走大会交付		終了年度		事業分類		
	施策		生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	金交付要領	743103	小() 干/又		于未乃及	<u> </u>	子木
2. 事業 概 (1)事第		及び(基本計	画期間内)目標値		•					
掌無要	スポーツ協会	会各支部対抗	九(19支部を14支部に再編)による市	5民駅伝大会開催を支援する。						
(2)目的	<mark></mark>			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	フポーツサン	今夕 士如の小	学生から壮年まで幅広い年齢層で結成さ	参加チーム数	チーム	14	14	14	7	8
(本事業に よって成し			ナニルの仕中なく幅広い中間層 C相成C 走大会を実施し、地域の親睦を深め、絆を							
遂げたい			とい地域社会づくりに目的とする。							
状態)	الميرة	//C-/10 (IT4)	NV -B-ARA VACAPICA							
	<u> </u>									
8. 前年度 (1)活動		舌動及び費用]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	タ及ひ	事業費の持	進移		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	第10回台	上殿士 R ED (=	·····································		人	0	-	-		
	第19回佐野市民駅伝競走大会 開催日 令和5年11月12日(日)									
舌動実績			プェミロ(ロ) 「西産業道路周回コース(2周)							
R5年度に		1707 - *	19.5km							
った主な活	 区間	9区間	1 31 3 K.III	事業費計	千円	0	500	500		
動内容)				一般財源	千円		500	500		
	参加チーム	が開催要件	(10支部未満) に満たなかったため、中止	特定財源(国・県・他)	千円					
				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活重	めによる効果			(4) 事業効果を説明する数	な値デーク	りの推移			↓選択して	下さい
() , , , , ,				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
				参加チーム数	チーム	0	4	8	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	支部による	チーム編成は、	、地域の親睦を深めると供にスポーツ振興							
(定量及び 定性)	に繋がる。									
~LIL)										
(5)費用	月対効果結果	果(自動判定	≘)							
費用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果は変わり	らない指標数 バった指標数	0指標 0指標		費	費用は下がった	0			
旨標値増減)	79321<13 1 13	指標全体			用	費用が増加した				
	度に向けた検 ①5年度の乳		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	2等を踏まえた検討課題、費用対	对効果向	可上のための	課題			
各支部にお	いて選手の	確保が難しい	伏況であり、参加チーム数の関係で大会を 閉	開催できていないことから、 要項や	アコース語	设定等検討	が必要であ	る。		
()\ ⊢≣	2万少占757	パ運里頭を吹する	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
(と) 上市	小区 目	7 東京の日本	元、17410平皮及074474度00块租	取組説明	1					
	事業の在り	方検討 (座⊩	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	ガス小口のルック	J					
		上げるための	事務改善の検討	ナ会が閉従できるとう 亜頂や	コ フ笠	を検討する	心亜がちる			

<u> </u>	- J J/L()		עוד כ מוינו ו							
事業名	市民体育	う祭開催!	事業	実施計画事業or一般事業	—f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情		I vuz 1 zu	10			I a = 1	- 45			/=·->=-
	部	産業文化ス スポーツ推進		予算中事業名	7 #	会計款		事業計画 新規or継続	単年度 継続	
	課 係	市民スポーツ		市民体育祭開催事業		項	5	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222		根拠法令、条例等	170	目	-	義務or任意	任意的	
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	INCOME TO CONTROL OF	事業	開始年度	_	実施方法	直	
攺策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	_	
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
(1)事業	美概要		・画期間内)目標値 ・1 4チームに再編し支部対抗戦で各競技	を開催する。						
(2)目的										
(2) пр	,			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50
(本事業に	「市民一人	1スポーツ」の	推進と、スポーツを通じて健康維持・増進							
よって成し 遂げたい	を図る。									
状態)										
3.前年度 (1)活動		舌動及び費用]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ		事業費の持	生移			
(1)/山玉				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				競技種目数	種目	0	0	16		
舌動実績 R5年度に ^終 テった主な活 1										
	総合競技	(雨天中止)	、球技等に区分し、野球、バレーボール等							
				事業費計	千円	450	617	1,886		
動内容)								-		
				一般財源	千円	450	617	663		
				特定財源(国·県·他)	千円			1,223		
				(うち受益者負担)	千円					
(a) T=	l (= 1 = ±1 m			/ /)	/ + - "	14.76			1 22401 -	-
(3) 活虫	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数			D4	DE	→ 選択して 指標の性質	
				効果指標	単位 %	R3 42	R4 39	R5		効果が上がった
効果説明	支部単位は	よる編制とな	っていることから、市民間の交流が図られる	週に1回以工建動している前日	70	72	37	71	iiii) / Co-locks	が来り エガ カに
(定量及び			ツの推進に繋がる。							
定性)										
(5) 費田	 動動里結果	果(自動判定								
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果		った指標数	1指標	X I Gyst sychological and the constraint			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
メリ ス (R5とR4の		うない指標数_ うた指標数	0指標 0指標		費	費用は下がった	0			
旨標值増減)	※ルネルトル	・ <u>기に指標数</u> 指標全体			用	費用が増加した	0			
(1)令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 らあり、要項等の検討が必要である。	見等を踏まえた検討課題、費用対	対効果に	<u>す上</u> のための	課題			
(2)上記	記反省点及び	び課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間対	と上げるための 見直し検討 効率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討 け維持又は現状の計画通り)	取組説明 各関係団体等と参加方法等の	検討が	必要である	o			

☑ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

士事	の振り	ル区りこ	シート(令和5年度	美施分)			作	成・更新日	2024年	₹6月28日
事業名	生涯スポ	ーツ指導		実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
	l			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
. 基本情		I viz 1 zi =	10			I a = 1	4.5			(5,5)=:
	部	産業文化ス		予算中事業名		会計		事業計画	単年度組織	
	孫	スポーツ推進市民スポーツ		生涯スポーツ指導者育成事業		<u>款</u> 項		新規or継続 市単独or国県補助	継続市単独	
	体系コード	222		根拠法令、条例等	科目	目	Ū	義務or任意	任意的	
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度		実施方法	直	
文策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市スポーツ指導者育成事業		終了年度	3 30	事業分類		<u>中</u> 成事業
	施策		生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	補助金交付要綱	المالك	心了十尺		于未力积	八仞月	八字未
(1)事業	美概要		画期間内)目標値	***************************************	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 	\ + -+ \ \ + -+ -				
¥概要 ———	スハーツ指導	身有を刈家に	した講習会の実施、及び競技別指導者指導	导貝負格取停負用の─部に対		歴を父刊96	D •			
(2)目的	7			(3)目標値						
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に	7-12 VIEV	*******	7-1° W-88-7-7-10-0-15-7-1	市スポーツ指導者登録数	人	15	30	40	50	60
よって成し			スポーツに関する理論や実技についての研 の資質向上を図る。							<u> </u>
遂げたい	115.G1101	旧等日CU Cu								
状態)										
	I.									
3. 前年度	きの実績 (氵	舌動及び費用	月対効果)説明							
(1)活重	加実績			(2)活動を説明する数値デ	ータ及し	事業費の担	推移		ı	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				講習会開催数		3	3	2		
舌動実績	部活動顧問	月 ひびてポー	-ツ推進員を対象に講習会を実施。							
R5年度に			列に延ります。 受格取得費用の一部に対し補助。							
った主な活	交付件数			事業費計	千円	60	138	138		
動内容)	2(13112)			一般財源	千円	60	138	138		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	りの推移			↓選択して	こ下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
-t == +t no				市スポーツ指導者登録数	人	134	97	111	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び	スポーツ指え	草老の姿質店	7上及び確保はスポーツの振興に寄与する。							
定性)	7010 710	T L V P P I I								
·										
		果(自動判定	È)	_						-
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変われ	った指標数 うない指標数	1指標 0指標		弗	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の		った指標数	0指標		費 用	費用の増減無し	0			
旨標値増減)		指標全体	効果が上がった		Ж	費用が増加した				l
	度に向けた検 115年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	1等を踏まえた検討課題、費用ネ	対効果に	可上のための	課題			
事業と連	携し、スポー	ツ指導者の登	登録制度の検討が必要である。							
(2) 上訓	2反省点及0)課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	-ANILLD/U-7J	<u> </u>					

指導者確保のためにも、スポーツ指導者育成事業補助金の充実が必要である。

工一							,,,			0, 12011
事業名	全国スポ	ーツ推進	委員協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	—		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情		****** //. ¬ -		又发去市业力		Λ=I	ÁΠ.	±₩=1±	¥4-5-	/B/0\E/
	部	産業文化スプ スポーツ推進		予算中事業名	7 #	会計		事業計画 新規or継続	単年度: 継続	
	課 係	カスポーツ推進 市民スポーツ		全国スポーツ推進委員協議会参画事業		款 項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222	까 名称	根拠法令、条例等	竹田	目		義務or任意	任意的	
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	似地位以来的专	事業	開始年度		実施方法		営
攺策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	スポーツ基本法		終了年度	П 10	事業分類		
	施策		大小一ツを押とした人々が集まるようフトリ 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	↑	州川	於」平反		尹未刀叔	参画	尹未
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 「究協議会に参加し、他自治体のスポーツ打	推進委員と情報交換・交流・研修	多を図る	•				
(2)目的	5			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	/ ᠘ ⊞⋜ ╶ ╾っᆠ	\\	が全国スポーツ推進委員協議会に参画	スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30
(オヤズに										
よって成し 遂げたい			ーツ推進委員との情報の共有と交流・研							
状態)	で区区のこと	を目的として	い る。							
. ,										
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及ひ	事業費の持	推移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				全国協議会参加者数	1	0	2	2		
				土国协議云参加有数	人	0				
エチムマックを										
舌動実績										
R 5 年度に テった主な活	全国スポーソ	ツ推進委員研	究協議会 青森大会 に参画する。	古光串計	ΤM	0	4.4	45		
動内容)				事業費計	千円	0	44	45		
				一般財源	千円		44	45		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
() , , , ,	3, = 0, 0, 7, 5, 1, 1			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
				スポーツ推進委員	人	26	26	_	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明	全国のスポー	-ツ推進委員	と交流・意見交換をすることは、推進委員							
(定量及び		を図る上で優								
定性)										
/c\ #==		果(自動判定								
	とR4の一般			× 1 0 左田以 Fの横端に FD 判断				か田		
	スペイの一般! 効果が上が		費用の増減無し 0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変わら	おい指標数	0指標		費	費用は下がった	783703 113 370	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7937(1) 1 13 310	
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下が		1指標		用	費用の増減無し			0	
4. 次年度	をに向けた検 35年度の事		効果が下がった ける反省点、環境変化や関係者からの意見	 等を踏まえた検討課題、費用対		費用が増加した	課題			
寺記事項な	i.									
(2)上記	尼反省点及び	が課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための 直し検討 か率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討)事務改善の検討 犬維持又は現状の計画通り)							

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

	3,212		/一下(中和3千皮							
事業名	全国大会	会等出場者	首支援事業	実施計画事業or一般事業	— _f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情				T		1				
	部	産業文化スプ		予算中事業名		会計		事業計画	単年度組織	
	課	スポーツ推進		全国大会等出場者支援事業		款		新規or継続	継続	
	係なっじ	市民スポーツ 222		根拠法令、条例等	科目	項目		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード			依拠法T、采例寺	#₩			義務or任意	任意的	
攺策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市全国大会出場祝金交付		開始年度	5 58	実施方法	直	
	政策 施策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	要領	州间	終了年度		事業分類	現金等約	引力争耒
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 ポーツ大会に出場する選手、監督等を激励	するとともに、祝金を交付する。						
(2)目的	3			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				全国大会出場件数	件	165	120	130	140	165
(本事業に よって成し			ポーツ大会に出場する選手、監督等を激							
遂げたい	励するととも	に、本市のスプ	ポーツ振興の推進を図る。							
状態)										
									<u> </u>	
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	「事業費の持	#移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5	1	
				祝金交付件数	件	171	294	310		
工私中健										
舌動実績 B. F. 任度に		穿出場祝金交	付件数							
R5年度に うった主な活	全国大会		7件	事業費計	千円	1,490	2 220	2,870		
動内容)	アジア・世	界大会	3件	3 2102 CET	-	-	-	-	ł	
				一般財源	千円	1,490	3,320	2,870		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(万万丈皿 日兴三)	113				İ	
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数		の推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
が由 真田	全国レベル	以上で活躍す	「る選手を激励するで、さらなる飛躍の動機	全国大会出場件数	件	171	294	355	値が大きいほど良い	効果が上がった
			良い影響を与えることからスポーツ振興に繋							
	がる。	,								
									<u> </u>	
		果(自動判定	Ξ)	•						
	とR4の一般		費用は下がった	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変わり	うた指標数	1指標 0指標		#P	悪田けてがった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が		0指標		費	費用は下がった				
旨標値増減)		指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した				
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 周知が必要である。	男等を踏まえた検討課題、費用文	対効果向	可上のための	課題			
(2)上記	ピレダ点及で	グ課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
	事業の在り	方検討(廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明						
	事業費の見	直し検討	事務改善の検討							
	業務時間效	7)挙化のための	D事務改善の検討	İ						

1 1 	○									
事業名	総合型地	也域スポーソ	ツクラブ設立活動支援事業	実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	I.			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
. 基本情		I				1				
	部	産業文化スポ		予算中事業名		会計		事業計画	単年度組織	
当組織	課	スポーツ推進		競技スポーツ強化事業	予算			新規or継続	継続	
	係 体系コード	市民スポーツ 222	除	根拠法令、条例等	科目	目		市単独or国県補助 義務or任意	市単独任意的	
			新たな流れの創造による賑わうまちづくり		市쌮	開始年度	_		正思可	
女策体系	基本目標 政策		オバンながれてい剧を回じてよる味がりょう ノバリースポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市スポーツ推進基本計画 佐野市スポーツ強化事業補助金		終了年度	П28	実施方法	その他市民に	
	施策		★ボーンで半聞こした人々が集まるようプラー 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	交付要領	州川山			尹未刀叔	てい他り氏は	こ刈りの手未
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 「の設立・運営等を支援する。							
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値						
(2) 💷	ני			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				認証総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	-	6	6	6	6
(本事業に	総合型地域	或スポーツクラフ	「の設立・運営等を支援し、市民のスポー		7 7 7			0		0
よって成し		*ハバ・ファック 景の確保を図る								
遂げたい 状態)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	•							
7八品)										
8. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の持	進移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5	ı	
				認証総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	_	2	2	i	
					7 7 7				i	
舌動実績	 ・スポーツ施	設の優先貸出	は及び使用料の減免						i	
R5年度に	·安足地区	総合型地域ス	パーツクラブ連絡協議会に参画						i	
った主な活		タの開催(1		事業費計	千円	0	0	0		
動内容)	モルック等	の体験会		2 1132 121					i	
				一般財源	千円				i	
				特定財源(国·県·他)	千円				i	
				(うち受益者負担)	千円				i	
(-)	1			(·) = W+1 FF + 5V FF + 5 W		- 14.70			1 333 lev -	1 .
(3) 活重	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			5.4	5.5	↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	34131 11450	R4とR5の比較
助果説明	総合型地域	或スポーツクラフ	で設立・運営等を支援することは、市民の	認証総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	-	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定量及び	スポーツがで	きる場の確保	に繋がり、市民一人 1 スポーツの推進が							
定性)	図られる。									
		果(自動判定	<u>:)</u>	1						ı
費用(R5	とR4の一般		0.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.	※10万円以上の増減により判断			timici ić t	効果	ALTERNATION &	
効果	効果が上が効果は変わり	つに指信数 らない指標数	0指標 1指標		弗	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が	った指標数	0指標		費用	費用の増減無し				
旨標値増減)		指標全体	効果は変わらない		/13	費用が増加した				
(1) 令和		事業実施におい	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 認証の働きかけを行う。	3等を踏まえた検討課題、費用文	対効果向	可上のための)課題			
(2) ! =	154 55 F	/°=π	A10 c fr th 7 3 4 4 5							
			た、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間交	と上げるための! 見直し検討 効率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 事務改善の検討 大維持又は現状の計画通り)							

				- -						
事業名	町会運動	协会開催 3	支援事業	実施計画事業or一般事業			市長公約		総合戦略	
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情	部	産業文化ス	#	予算中事業名		会計		事業計画	単年度	給り;巨!
	課	スポーツ推進			予算			新規or継続	継続	
	係	市民スポーツ		町会運動会開催支援事業	科目		5	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	的事業
攺策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	· 佐野市町会運動会開催奨励金		開始年度	H17	実施方法	直	営
	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	交付要綱	期間	終了年度		事業分類	支援	事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
2. 事業 概 (1)事業		とび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	町会が開催	ぎする運動会(こ対し、奨励金を交付する。							
(2)目的	5			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に	町会が開催	ぼする運動会(こ対し、奨励金を交付することにより、市民	週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50
よって成し	一人 1 スポ	ーツの推進を	図り、もって市民の健康維持・増進と、明る							
遂げたい	いまちづくり	こ寄与すること	を目的とする。							
状態)										
3. 前年 度 (1)活動		舌動及び費用	月対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	_ <i></i> 57.71	事業毒の対	#轻			
(1) /山玉	万大 慎			活動指標	単位	R3	R4	R5		
						_			-	
				奨励金交付町会数	町会	3	6	27		
舌動実績										
R5年度に	2 7 mr A/-	-++1 -	\+ \							
うった主な活	2/町会に	-刈し(奨励会	金を交付を行った。	事業費計	千円	60	110	300		
動内容)				一般財源	千円	60	110	300	1	
						00	110	300		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	りの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明				週に1回以上運動している割合	%	42	39	41	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び	_		は、地域の親睦が図られると供に市民一人							
定性)	1 スホーツ0	り推進に繋が	ි							
(c \ 弗口		田 (白新州)	⊨ 1			1		1		
,, .	ヨ対効果結果 とR4の一般	果(自動判定 財源増減)	E) 費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	った指標数	1指標	M I O/JI JA/LEO/-BII/MICO// IBII			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
メリ ス (R5とR4の	効果は変わり効果が下が	らない指標数	0指標 0指標		費	費用は下がった				
· 旨標值増減)	<u>хлж</u> л Гл	指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した	0			
	ぎに向けた検 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	男等を踏まえた検討課題、費用対	対効果に	可上のための	課題			
ド実施の町	「会が多くある	ることから市スス	ポーツ協会と連携した取組みが必要である。 							
(2) 上詞	己反省点及び	が課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための 見直し検討 効率化のための	、、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討 け維持又は現状の計画通り)	未実施の町会に対する検討が	必要。					

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名	栃木県ス	スポーツ推済	進委員協議会参画事業	実施計画事業or一般事業		投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
. 基本情		さ 类 サルフ・		又 笞巾吏 兴 夕		∆≣∔		中無計型	出左帝	紹から
	部課	産業文化スポーツ推進		予算中事業名	予算	会計		事業計画 新規or継続	単年度	事業
	係	市民スポーツ		栃木県スポーツ推進委員協議会参画事業		項		市単独or国県補助		アネ 虫事業
	体系コード			根拠法令、条例等	17111	<u> </u>		義務or任意		<u>3年来</u> 9事業
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	123/2/2 15 ()(() 3 ()	事業	開始年度		実施方法		· 営
次策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	_ スポーツ基本法		終了年度	20	事業分類	-	事業
	施策		生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	-	7	17.3 17.2	l	3 2/0/3/00	_	3 2/4
2. 事業 概 (1)事第		及び(基本計	画期間内)目標値							
『業概要	栃木県スポ	ーツ推進委員	員協議会に参加し、他自治体のスポーツ推議	進委員と情報交換・交流・研修 を	を図る。					
(2)目的	ង			(3)目標値						
(2) ПР	,			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				スポーツ推進委員	人	30			30	
(十十十二			員が栃木県スポーツ推進委員協議会に参	7411 732227	, ,					
よって成し		-0.2.7,11.2.7	スポーツ推進委員との情報の共有と交流・							
遂げたい 状態)	団修を図る	ことを目的とし	, (いる。							
,,										
8. 前年度 (1)活動		活動及び費用	引対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の持	隹移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
						2	5	8		
				宋IIII				0		
舌動実績										
R5年度に	1C-1-10-7-1	°₩\#. ≠ .=								
った主な活	栃木県人不	ーツ推進委員	員協議会 に参画する。	事業費計	千円	52	52	50		
動内容)				3 212 22 1						
				一般財源	千円	52	52	50		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(-)				(+) = W+1 FF + -VFF + - W	/ 	- 14.70	l .	I		
(3) 活重	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			D.4	- D.E.	↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
効果説明	IB内のフ ポ	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	と交流・意見交換をすることは、推進委員	スポーツ推進委員	人	26	26	25	値が大きいほど良い	効果が下がった
(定量及び		ーク推進安員 間を図る上で優								
定性)	ツヂ未/政府	9.GDJ9T C 18	ETX COLO:							
(=) #PD	2 + 1 + 1 - 12 / + 1	m / 4 4 1 1 1 1 1					ı	I		
	ヨ対効果結果 とR4の一般	果(自動判定	E) 費用の増減無し					効果		İ
		的源増減) でた指標数	質用の増減無し 0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変われ	らない指標数	0指標		費	費用は下がった	が来が上がった	カルは多い	MAN 1 13 31C	
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下が	らた指標数 指標全体	1指標 効果が下がった		用	費用の増減無し			0	
		拍标土件	刈未が下がうだ	J		費用が増加した				İ
	をに向けた検 日 5 年度の		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用を	对効果向	可上のための	課題			
持記事項な	il ————————————————————————————————————									
(2) 上訂	己反省点及征	び課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明]					
	事業効果を 事業費の見	を上げるための 見直し検討	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	4次が11年のプログラ	<u>I</u>					
	業務時間效	効率化のための	の事務改善の検討							

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

山尹	りが残り	ルメリン	アト(中和3年度	关心力)			1′F <i>I</i>	戏•史新口	20244	F6月28日
事業名	ウォーク	ラリー大会	開催支援事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u> j	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
. 基本情		**************************************	امان <u>المناب</u>	7/11-1-14-0		∧ = ı	ÁD.	±#=1-	¥ + +	(BIO) EI
	部 課	産業文化スポーツ推進		予算中事業名	予算	会計款		事業計画 新規or継続	単年度組織	
	係	市民スポーツ		ウォークラリー大会開催支援事業		項	5			罗未 虫事業
	体系コード	222	•	根拠法令、条例等	171	目		義務or任意	任意的	
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度		実施方法		
7 末 1 末 平	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	ウォークラリー大会交付金交付要		終了年度		事業分類		事業
	施策		生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	· 領						
2. 事業 概 (1)事業		とび(基本計	画期間内)目標値							
■業概要	幅広い層の	市民が気軽に	こ参加できるウォークラリーコース大会開催を	支援する。						
(2)目的	ħ			(3)目標値						
(2) ==	,			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	==	_		参加者数	人	0	300		300	300
(T++)*(C			こ参加できるウォークラリーコースを設定し、							
	を目的とする		エーションの普及、仲間づくり及び体力づくり							
状態)	-C-017C3.	ەلە								
8.前年度 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及ひ	『事業費の抄	推移		_	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				コース数	コース	2	2	2		
				_ //2/		_				
舌動実績	笠10回	生野ウォークラ!	1 +							
R5年度に	男子 9四%	注野リオークラ! :和5年6月)- 人会 4 ロ (ロ)							
った主な活		和3年6月 沼小学校周	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	事業費計	千円	0	70	70		
動内容)	云物 山	1/071子仅/07	<u> </u>		壬田		70	70		
							70	70	1	
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3) 活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	7佰デー/	かがお			↓選択して	で下さい
(3) /山玉	ILCO DAILY			効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
				参加者数	人	0				効果が下がった
効果説明	ウォークラリ-	-大会に参加	することは、スポーツ・レクリエーションに親し	> 26 L 3A	, ,					
(定量及び			の推進に繋がる。							
定性)										
(5)費田	3対効里結5	果(自動判定	₽)							
	とR4の一般		費用の増減無し	※ 1 0万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が		0指標	X I O / S / S / S / S / S / S / S / S / S /			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変われ		0指標		費	費用は下がった				
(RSCR18) 旨標値増減)	効果が下が	つに指信数 指標全体	1指標 効果が下がった		用	費用の増減無し			O	
		加州工作	777767 1 10 270	•						i
	ぎに向けた検 15年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	男を踏まえた検討課題、費用対	対効果に	可上のための	課題			
オークラリ-	-の性質上、	1コースあた!	のの参加組数に制限があり参加数が限られる	3.						
(2) 上詞	己反省点及び	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	1					
	事業の在り	方ฝ計 (鹵止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	4X和13元9月	<u> </u>					
	事業効果を 事業費の見	上げるための 直し検討	ま務改善の検討 の事務改善の検討	事務の効率化の検討が必要で	ある。					

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

仕事	の振り	ル区リン	/一ト(令相 5 年度	美施分)			作	成・更新日	2024年	6月28日
事業名	スポーツ	カレンダーイ	作成事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		女学サルフ-	£	マダム市 サカ		Δ=1	óЛ	市₩ □ エ	出左座	という と
担当組織	部課	産業文化スポーツ推進		予算中事業名	予算	会計款		事業計画 新規or継続	単年度組織	
	係	スポーツ施設	- I	スポーツカレンダー作成事業	科目	項	5		市単独	
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	
政策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	S60	実施方法	直	営
以來冲示	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	啓発	事業
			生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備画期間内)目標値							
事業概要	・年間のスポ 知を図る。	ポーツ・レクリエ 	ーション大会の日程・会場等を掲載したスポ	《ーツカレンダーを作成し、市ホー.	ムページ	たて公開、イ	体育施設・	公民館にて	配布し、市	民への周
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値						
日的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に				スポーツ等に親しんでいる市民の割合	%	50	43	46	48	50
、 よって成し	スポーツに関	目する情報を12	公市民に周知を図る							
遂げたい 状態)										
-DOW)										
3. 前年 度 (1)活動		舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ						
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				カレンダー作成数	枚	3,000	3,000	3,000		
				ホームページに公開		1	1	1		
活動実績	•施設利用	に関する日程	調整会議(1月)、町内印刷によりカレ							
(R5年度に 行った主な活			ホームページにて公開、体育施設・公民	事業費計	тm	4	2	Г		
動内容)	館にて配布	(4月)		2 11.2 12.1	千円	4	3	5		
				一般財源	千円	4	3	5		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(2) 73				/ / \ = \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	/ + -"	L = 14.77			1 23 151 -	No. 1
(3) 沽里	かによる効果 T			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位	タの推移 R3	R4	R5	→選択して 指標の性質	トさい R4とR5の比較
				スポーツ等に親しんでいる市民の割合	%	42.4	39.2	41.4		効果が上がった
効果説明	油厂 1 同以	人上スポーツに	¢81 + \							
(定量及び 定性)	週に1 凹り	(エスハーツに	秋 じむ							
<i>/</i> /										
		果(自動判定	Ξ)	.						
費用(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変わ	つに指信数 らない指標数	1指標 0指標		費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果かトかった	
(R5とR4の 指標値増減)		った指標数	0指標		用	費用の増減無し	0			
		指標全体	効果が上がった		713	費用が増加した				
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 全が発生するため、日程調整や周知を行う。		対効果!	句上のための)課題			
(2) 上訂	己反省点及び)課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明]					
	事業の在り	方検討 (廃止	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	4人小江ロル 4/7						

上尹	いが返り	ルベリン	/一ト(7413年度	关心力)			1 F /	戏•史新口	20244	-6月28日
事業名	スポーツ	協会運営		実施計画事業or一般事業	— <u></u>	 般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		.		施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ			
L. 基本情	報					•		!		
	部	産業文化ス		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	
	課	スポーツ推進		 スポーツ協会運営支援事業		款		新規or継続	継続	
	係	市民スポーツ			科目	項	5	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222		根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	
攺策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度		実施方法	直	
	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	支援	事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
2. 事業 概 (1)事業		なび(基本計	画期間内)目標値							
『業概要	佐野市スポ	ーツ協会が行	うスポーツ普及、振興活動及び運営を支援	चिठ.						
(2)目的]			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	佐野市スポ	ーツ協会が主	催する大会や事業の運営費を補助するこ	各支部・専門部の事業数	事業	30	30	30	30	30
(本事業に	とにより、各	支部や競技区	団体のスポーツの振興を図り、市民一人 1							
よって成し 遂げたい	スポーツの推	達と市民の の	建康や体力の維持、増進及び競技力の向							
状態)	上を図ること	を目的とする	•							
. ,										
		舌動及び費用	対効果)説明							
(1)活動)実績			(2)活動を説明する数値デ		事業費の持	佳 移		İ	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	(市の活動	b)		登録支部数	支部	19	19	19		
	交付金関係	系事務、各種:	共催事業開催のための事務			_				
舌動実績				登録競技団体数	団体	21	21	21		
R5年度に	(団体の活	動)								
	総会、常任	理事会の開係	崔	事業費計	千円	6,120	7,650	7,650		
動内容)	各競技団体	*等の指導・育	育成	2 1132 121						
	主催・主幹			一般財源	千円	6,120	7,650	7,650		
	19支部、	2 1 専門部		特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(万万丈皿 日兴三)	113				l	
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	な値データ	タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+L == H no				各支部・専門部の事業数	事業	12	52	54	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明 (定量及び	スポーツ協会	会を支援するこ	とは、市民の体位向上並びに各競技団							
定量及0	体等の強化	こに繋がり、スァ	ポーツ振興が図られる。							
//										
(5)費用	対効果結果	果(自動判定	₹)							
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が		1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わり		0指標		費	費用は下がった				
(KSCK+88) 旨標値増減)	効果が下が	つに指標 <u>致</u> 指標全体	0指標 効果が上がった		用	費用の増減無し	0			
(1)令和		討	ける反省点、環境変化や関係者からの意見	男等を踏まえた検討課題、費用対	对効果向	可上のための	課題			
寺記事項な	:U									
(2) 上記	記反省点及で	が課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	<u>_</u> _					
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための 1直し検討 か率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討)事務改善の検討 犬維持又は現状の計画通り)							

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

上尹	ひが成り	ルベリン	/一ト(70個3年度	关心力)			1'F/	戏•史新口	20244	-6月28日
事業名	スポーツ	教室開催		実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>		市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情			10			0 = 1	I 48		W 4	TIESTE I
		産業文化スプ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	予算中事業名		会計		事業計画		
	課	スポーツ推進		スポーツ教室開催事業		款		新規or継続	継続	
		市民スポーツ 222		根拠法令、条例等	科目	項 目		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード			(大型) (大型) (大型) (大型) (大型) (大型) (大型) (大型)	₽₩			義務or任意	任意的	
内部体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度		実施方法	-	
	政策 施策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		期间	終了年度		事業分類	イベント等	開催事業
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 目部や総合型地域スポーツクラブ等の各種団		字を開係	筆する 。				
(2)目的	5			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				スポーツ教室参加者数	人	383	420	440	460	480
(本事業に	スポーツ教室	を開催し、†	5民一人1スポーツ・レクリエーションを行う							
よって成し	ための機会	を充実させる。								
遂げたい 状態)										
177.65)										
3.前年度 (1)活動		舌動及 び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の担	隹移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
					教室	13	18	19		
				75.主公	教主	13	10	13		
工制中结										
舌動実績 R5年度に										
かた主な活	13種目1	. 9 教室のスプ	ポーツ教室を開催した。	 事業費計	千円	727	929	1 077	Ì	
動内容)				尹未貝司	TD	121	929	1,077		
				一般財源	千円	473	289	384		
				特定財源(国·県·他)	千円	254	640	693		
				(また巫光孝各也)	ΤM	254	640	602		
				(うち受益者負担)	千円	254	640	693	l	
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	な値データ	の推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
				スポーツ教室参加者数	人	322	557	598	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	スポーツを行	うきっかけとな	め、市民一人 1スポーツの推進に繋がって							
(定量及び 定性)	いる。									
ÆIT)										
(5) 費田	まれが単純品	果(自動判定	Ξ)							
	とR4の一般		費用の増減無し	 ※10万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が		1指標	X I O / S / S / S / S / S / S / S / S / S /			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	効果は変わら	らない指標数	0指標		費	費用は下がった	_			
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	0指標 効果が上がった		用	費用の増減無し	0			
		拍倧土仲	刈未が上がりた	<u>l</u>		貫用が増加した				
(1)令和		写業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 各専門部及び総合型スポーツクラブが担って					ა		
(2) =] 二	『=用日五ナ □* → -								
(乙) 上記	以自只及(/	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	Fin≪日≡光□□]					
	車業のたり	古烩哥 /南川	. 休止 五短式 英米老色担系显示 5.15	取組説明	<u> </u>					
	事業効果を 事業費の見	上げるための	:、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 D事務改善の検討	講師謝礼等検討する必要があ	る。					

· — —		~	ערד כ בוינו ו							
事業名	スポーツタ	少年団支:	援事業	実施計画事業or一般事業	—f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情		**	وخرين ١٥	7/5/±#4		A = 1	ÁD.	± 444=1 T	W (, , , , , , , , , , , , , , , , , , 	/B/07E1
		産業文化ス スポーツ推進	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	予算中事業名	予算	会計款		事業計画 新規or継続	単年度組織	
		市民スポーツ		スポーツ少年団支援事業		項	5	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222		根拠法令、条例等	171	目	-	義務or任意	任意的	
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H19	実施方法	直	
改策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市スポーツ少年団本部運営 費補助金交付要領		終了年度		事業分類	支援	事業
	施策		生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	質開助並父刊安視						
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 ・ ・ ・ ・ うスポーツ普及、振興活動及び運営を支援	せる。						
(2)目的	<u> </u>			 (3)目標値						
(2) 👊	ט			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				登録団員数	人	550	550		550	
(本事業に	スポーツ少年	団本部を支	援することにより、青少年のスポーツ活動の							
よって成し 遂げたい	普及と振興な	を図ることを目	目的とする。							
状態)										
	前年度の実績(活動及び費用対効果)説明1)活動実績			(2)活動を説明する数値デ	ータ及ひ	事業費の抽	進移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				登録団体数	団体	30	26	26		
	(市の活動	•		豆虾凹件数	四件	30	20	20		
舌動実績	交付金関係	事務、各種	研修会を支援する。							
R5年度に	(団体の活	₹ Ł /								
うった主な活	総会、資格			事業費計	千円	300	300	350		
動内容)	競技別交流			一般財源	千円	300	300	350	! 	
	体験会					300	300	330		
	TI POXIA			特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3) 活重	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	値データ	の推移			- ↓選択して	下さい
(3) /山玉	ILCR DVIX			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
				登録団員数	人	572	535			効果が上がった
7771/0.73			5開催しており、団員相互の交流のみならず							
(定量及び		きつかけを割ら	出することは、市民一人 1 スポーツの推進							
定性)	に繋がる。									
(5)費用	引対効果結果	2(白動判5	₹)							
	とR4の一般則		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上がっ	た指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
メリ オ (R5とR4の	効果は変わら		0指標 0指標		費	費用は下がった				
旨標値増減)	効果が下がっ	指標全体			用	費用の増減無し	0			
4. 次年度に向けた検討(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見詩記事業なし(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組				9等を踏まえた検討課題、費用文	対効果向	り上のための	課題			
. ,				取組説明						
□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) □ 事業効果を上げるための事務改善の検討 □ 事業費の見直し検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討 □ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)										

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

					1				T.	
事業名	レクリエ-	ーション協会	会支援事	実施計画事業or一般事業		投事業			総合戦略	
. +-	± +0			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情	部	産業文化ス	ポーツ - ツ	予算中事業名		会計	— 42	事業計画	単年度紀	
	課	スポーツ推進			予算	款		新規or継続	継続	
	係	市民スポーツ		トクリエーション協会支援事		項	5	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	事業
攺策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	・佐野市レクリエーション協会運営	事業	開始年度	H17	実施方法	直	営
以來评示	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	費補助金交付要領	期間	終了年度		事業分類	支援	事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	2 (11)2-73 (12)						
(1)事業	美概要		画期間内) 目標値 会の活動支援及び運営費を補助する。							
(2) E#	5			(2) 口栖体						
(2)目的	ע			(3)目標値 効果指標	単位	no.	D/	DE	D6	D.7
目的				効果指標 週に1回以上運動している割合	単位 %	R3 50	R4 43	R5 46	R6 48	R7 50
(本事業に			会の運営費を補助し、その活動を支援する	たに1日外上任勤しての引口	/0	30	43	40	40	
よって成し			の普及・発展と、明るく豊かなまちづくりをめ							
遂げたい 状態)	ざすことを目	的とする。								
177.64)										
3.前年 度 (1)活動		舌動及び費用	日対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の担	進移		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	(士の江手	4.)		登録団体数	団体	20	20	15		
	(市の活動								1	
舌動実績	交付金関係	分争 纷						 		
R5年度に	(団体の記	5.重九)								
うた主な活	総会、役員			事業費計	千円	250	485	585		
動内容)		D指導·育成		一般財源	千円	250	485	585	1	
	自主事業の			特定財源(国・県・他)	千円				1	
								 		
				(うち受益者負担)	千円]	
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	値データ	の推移			↓選択して	下さい
(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	37-07-07/37			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
hi				週に1回以上運動している割合	%	42	39	41	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	レクリエーシ	ョンに親しむ機	会を提供することは、運動をする習慣を付							
(定量及び 定性)	けるきっかけ	となり、市民ー	-人 1スポーツの推進に繋がる。							
,										
]	
		果(自動判定	€)	1						•
	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	うた指標数_ らない指標数	1指標 0指標		曲	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が	った指標数	0指標		費田	費用の増減無し				
旨標値増減)		指標全体	効果が上がった]	用	費用が増加した				1
			ける反省点、環境変化や関係者からの意見	男等を踏まえた検討課題、費用対	対効果に	可上のための	課題			
(2) 上詞	記反省点及び	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	T-/-T-M-07	1					
	事業効果を 事業費の見	と上げるための 見直し検討	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討	取組説明						

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

工事	·UJ]][[\$\]	<u> </u>	/一下(中和3十/5	2 人 他力)			1 = 7	W X-1/11	20244	-0/120口
事業名	レクリエ-	ーション大会	会開催支援事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	 般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		1				1				,
+C >17 &C &+b	部	産業文化スを		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
担当組織	課 係	スポーツ推進市民スポーツ		レクリエーション大会開催支援事業	予算	<u>款</u> 項		新規or継続 市単独or国県補助		事業 虫事業
	体系コード			根拠法令、条例等	科目	目	_	義務or任意		50
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	似处心口、未闭马	車業	開始年度	_	実施方法	直	
政策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	佐野市レクリエーション大会運営		終了年度		事業分類		事業
	施策		生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備	費交付金交付要領 	743103	小、		子未乃及	X,_	于本
2. 事業板 (1)事業	美概要 		画期間内)目標値 フェスティバルの開催を支援する。							
尹未似女	M±1/11CL	///JIT-/JJ/.	/エベノイバルの開催を又張する。							
(2)目的	勺			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				週に1回以上運動している割合	%	50	43	46	48	50
(本事業によって成し			強と、健康で文化的な生活に資することを -							
遂げたい	目的として	大会を開催す	්							
状態)										
3. 前年 原 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	「事業費の持	進移			
	第19回佐野市民レクリエーションフェスティバル 開催日 令和6年3月10日(日) 会場 佐野市運動公園各施設 他			活動指標	単位	R3	R4	R5		
					人	_	1,000	300		
				多加白奴			1,000	300	1	
			・ツフェスティバル							
		ソフトバレーボ	ール 他						ĺ	
・ 行った主な活	小	学生ドッジボ-	-ル大会	事業費計	千円	0	200	200		
動内容)	レ	·ク団体PR兼し	ノクゲーム体験コーナー	一般財源	千円		200	200		
]	スカイクロス 代	也				200	200	1	
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	動による効果			(4)事業効果を説明する数	が値デーク	か推移			- ↓選択して	て下さい
(3) /山並		•		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
				週に1回以上運動している割合	%	42	39	_		効果が上がった
シシントロンローフコ			}、レクリエーション、体力づくり実践活動を ないな原で活力に満たたま見た活の穴。トに							
(定量及び 定性)	寄与する。	氏の体力項別	蛍と健康で活力に満ちた市民生活の向上に							
<i>(</i> LIL)	可 ブ ック。									
									<u> </u>	
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	<u>=</u>)							
費用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	うた指標数 うない指標数	1指標		-11-1	悪四(4 <u>工</u> +6 +	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の	効果が下が		0指標 0指標		費	費用は下がった	0			
指標値増減)		指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した	Ŭ			j
	度に向けた検 日 5 年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用え	対効果向	可上のための	課題			
実施団体の	D高齢化等									
(2) 上讀	记反省点及征	び課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明	<u>L</u>					
	事業効果を 事業費の見	と上げるための 見直し検討	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討							
	学教時間為	するシントのためん	7事務改美の検討	1						

	- 3/2()		עוד כ מוינו ו									
事業名	名 関東スポーツ推進委員研		委員研究会参画事業	実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし		
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし		
L. 基本情		* *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** 	10 000	7/5-1-W-0		A = 1	Án.	±#=1-	W 4- -	/B/07E1		
	部課	産業文化ススポーツ推進		予算中事業名	予算	会計款		事業計画 新規or継続	単年度	繰り返し 事業		
	係	市民スポーツ		関東スポーツ推進委員研究会参画事業		項	5	市単独or国県補助		字表 虫事業		
	体系コード	222	•	根拠法令、条例等	171	目	-	義務or任意		9事業		
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H18	実施方法		営		
攺策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	スポーツ基本法		終了年度		事業分類	参画	事業		
	施策		生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備									
(1)事業	美概要		画期間内)目標値 肝究会に参加し、他自治体のスポーツ推進者	受員と情報交換・交流・研修を 図	ସି3.							
(2)目的	5			(3)目標値								
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7		
目的	/ / ⊞ヌ ± フ ²	w#### 素 目	こが関すって、小世生禾号や詳心に参画	スポーツ推進委員	人	30	30	30	30	30		
(17.3-20.00	佐野市スポーツ推進委員が関東スポーツ推進委員協議会に参画 することにより、関東のスポーツ推進委員との情報の共有と交流・研修を図ることを目的としている。											
よって成し 遂げたい												
状態)	IN CENTUC	. פשי יכט כ	V'30									
3.前年 度 (1)活動		5動及び費用	引対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及ひ	事業費の打	推移					
				活動指標	単位	R3	R4	R5				
								_				
				関東協議会参加者数	人	0	0	6	<u>'</u>			
舌動実績												
DE年度に	1°		T									
	関東スポーツ推進委員研究大会 群馬大会 に参画する。			事業費計	千円	0	0	24				
動内容)						U	Ū					
				一般財源	千円			24				
				特定財源(国·県·他)	千円							
				(うち受益者負担)	千円							
/ 3 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				(4) 南洲社田土部四十2半	- / "	1			\221m; =			
(3) 活虫	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数			D4	DE	↓選択して	R4とR5の比較		
				効果指標 スポーツ推進委員	単位	R3 26	R4 26	R5	34 131 1 143 (効果が下がった		
効果説明	関東地方の	フポーツ堆油	委員と交流・意見交換をすることは、推進	人小一7批進安貝	人	20	20	25	個が入さいはと良い	刈来か下かつに		
(定量及び			とで優良である。									
定性)	XXV-X	:/X//// CE1 0 -	LCRCCOO.									
(c) 弗口	コナナナトロッナワ	果(自動判 定	⇒)									
	されるの一般!		費用の増減無し	 ※10万円以上の増減により判断				効果		1		
	効果が上が		0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
効果	効果は変わら	おい指標数	0指標		費	費用は下がった						
(R5とR4の 旨標値増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	1指標 効果が下がった		用	費用の増減無し						
		討	ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	対効果向	7上のための	課題					
(2)上訓	己反省点及び	「課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組									
_	車業のたい	亡按計 /⇔・		取組説明								
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための 直し検討 か率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)事務改善の検討の事務改善の検討け維持又は現状の計画通り)									

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

	- 5,2(2		. ()- 1	., (,,),						
事業名	県南五市	卜対抗親 割	喜駅伝競走大会開催事業	実施計画事業or一般事業	—£	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり		コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情	輯							!		
	部	産業文化ス		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
□当組織	課	スポーツ推進		· 県南五市対抗親善駅伝競走大会開催事業	予算		10	新規or継続		事業
	係	市民スポーツ			科目	項	5	市単独or国県補助	市単独	虫事業
	体系コード	222		根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	り事業
攺策体系	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	S 24	実施方法	直	営
以來冲示	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	参画	事業
	施策	2	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
(1)事業	美概要		・ 画期間内)目標値 ・競技大会に参画する。							
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値						
(2) [,			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				本市参加者数	チーム	30		30	30	
(本事業に			市、真岡市、栃木市の5市及び教育委員	74(1) 5 //11 6 5/	, 4	30	50	30	50	50
よって成し	会、スポーツ	/協会の主催	による親善を目的として駅伝競走大会を開							
遂げたい	催する。									
状態)										
3. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の抽	進移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				参加チーム数	チーム	0	0	0		
舌動実績	第74回県	具南五市親善	駅伝競走大会							
R 5 年度に	選手等の健康や安全の確保が困難であることや例年のコースが使									
テった主な活動内容)	用できないが	ため開催中止	となった。	事業費計	千円	0	0	0		
≇) (1 -1 -1-1				一般財源						
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	7佰データ	か推移			↓選択して	て下さい
(3) /山玉	ILCO OVIV			効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
				本市参加者数	チーム	0			値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明				ZY TO SUM DAY	, 4					7,371110-32,17-9-0-1
(,,	県南五市の	親善及びスプ	ポーツ推進が図らる。							
定性)										
/-\ ###	- I I + I - T	- / 	->					I		
		果(自動判定	E) T	1		İ		44.00		1
	とR4の一般 効果が上が		01/2/19	※10万円以上の増減により判断			******	効果	*******	
効果	効果は変わり		0指標 1指標		費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下かつに	
(R5とR4の	効果が下が	った指標数	0指標		用	費用の増減無し				
旨標値増減)		指標全体	効果は変わらない		Л	費用が増加した				j
	をに向けた検 35年度の事		ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題、費用対	付効果に	可上のための	課題			
第74回 为	云会をもって	事業廃止となっ	った。							
(2) 上記	三反省点及び	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
				取組説明						
	事業効果を 事業費の見	上げるための 直し検討	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)事務改善の検討の事務改善の検討	第74回大会をもって事業廃」	止となった	- Co				
	~~~~~~ 1017	,, — , 🗆 🗸 🗸	~ 3 3/3 U -> 1/2 U 3	İ						

事業名			<b>善善</b> 善 善 善 善 善 <del>善</del> <del>善</del> <del>善</del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del> <del></del>	実施計画事業or一般事業	<u>f</u>	投事業	市長小約	該当なし	総合獣政	該当が
学来石	末田 ユリ	レクシンは不兀言	51心口灰汉八云乡画于未				コンパクトシティ	該当なし		該当なし
L. 基本情	報			旭州博覧門が現代にの対定は	3003	政団のグ	10000011	以当なし	A ( 12)1	以口なり
	部	産業文化ス	ポーツ部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
⊒当組織	課	スポーツ推進	課	県南五市対抗親善総合競技大会参画事業	予算	款	10	新規or継続	継続	事業
	係	市民スポーツ			科目	項	5	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222		根拠法令、条例等		目	_	義務or任意	任意的	
改策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	S24	実施方法	直	
	<u>政策</u>		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	参画	事業
	施策		生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備							
2. <b>事業</b> 概 (1)事業		とび(基本計	画期間内)目標値							
<b>事業概要</b>	県南五市対	対抗親善総合	競技大会に参画する。							
(2)目的	]			(3)目標値	<b>V</b> / /-L		5.1		5.6	
目的				効果指標 本市参加者数	単位	R3 0	R4	R5	R6 200	R7 200
(本事業に	小山市、真岡市、栃木市、足利市、佐野市の5市及び教育委員会、スポーツ協会の主催による親善を目的として総合競技大会を開			<b>平中多加有数</b>	人	U	200	200	200	200
よって成し										
遂げたい 状態)	催する。									
1人忠)										
		舌動及び費用	]対効果)説明	( - ) \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \		^ <del></del> 111 <del></del> - 1	u			
(1)活動	)美績			(2)活動を説明する数値デ					1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				競技種目	種目	0	16	17		
	<i>**</i>									
舌動実績	第77回県南五市対抗親善総合競技大会									
R5年度に テった主な活			月25日(日)、7月2日(日)							
	会場 佐野市内スポーツ施設 競技種目 野球、陸上等 17種目20競技			事業費計	千円	0	403	644		
		コッパはエヾ		一般財源	千円		403	561		
				特定財源(国·県·他)	千円			83		
				(うち受益者負担)	千円			83		
				(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			D.4	D.F.	↓選択して	
				効果指標 本市参加者数	単位	R3	R4		指標の性質	
効果説明	多種円で行	- - - カカス <u>+ 今</u> 7	であり、市民一人 1スポーツの推進に繋が	本中参加有致	人	0	217	322	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び	多種ロ (1) る。	117113713	のが、中氏 人工人が 力の住屋に案が							
定性)	Φ0									
(5) 舞中	╛╅╬┸	果(自動判定	=)							
	とR4の一般		費用が増加した	  ※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		1指標	M 1 0731 35X11-5 11/M(2015 13/4)			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わり 効果が下が	ない指標数	0指標 0指標		費	費用は下がった				
旨標値増減)	※リストリング	指標全体	効果が上がった		用	費用の増減無し	$\circ$			
(1)令和		      業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 S競技団体による選手選考が課題となってい		対効果に	可上のための	課題			
(2)上記	三	が課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための !直し検討 か率化のための	:、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 D事務改善の検討 け維持又は現状の計画通り)							

1 — —	- 2 J/IC 2									
事業名	県南四市	南四市対抗親善スキー大会開催事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし						総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ								該当なし
L. 基本情	<b>手報</b> 部	産業文化ス	+° ₩ <del>±</del> 0	予算中事業名		会計		事業計画	単年度	得りだし
	<u>마</u> 課	スポーツ推進			予算	款		尹未可四 新規or継続	継続	
	係	市民スポーツ		- 県南四市対抗親善スキー大会開催事業		項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	的事業
政策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度		実施方法	直	
	政策 施策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		期間	終了年度		事業分類	参画	事業
<b>2.事業</b> 概 (1)事業	<b>玩要と目的及</b> 美概要	とび(基本計	画期間内)目標値							
未似女	業概要   県南四市対抗親善スキー大会に参画する。 									
(2)目的	3			(3)目標値						
日的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に	ᄆᆀᆂᅟᄼ		b	本市参加者数	人	24	24	24	24	24
よって成し			市、佐野市の4市及び教育委員会、ス 善を目的としてスキ−大会を開催する。							
遂げたい 状態)	/N / /////////////////////////////////	工匠にあるが								
1八忠)										
<b>3.前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の持	進移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				大会参加者数	人	_	_	72		
	笠 7 4 同時	3 <del> </del>	- 朝学フォー上会	八五多加百数				72		
イエレールキ			〔親善スキー大会 18日 (日)							
R5年度に	開催日 令和6年2月18日(日) 会場 エーデルワイススキーリゾート 種目 大回転									
うった主な活動内容)				事業費計	千円	0	0	78		
#)/ 1 <del>/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/</del>				一般財源	千円			78		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(* - 7 - 2 - 7 - 1 - 7					l	
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数			D.4	55	↓選択して	
				効果指標 本市参加者数	単位	R3	R4	R5	指標の性質 値が大きいほど良い	R4とR5の比較 #VALUE!
効果説明				本印参加有数	人	-	-	21	個か人さいはこ良い	# VALUE!
ハベエバ	県南四市の	)親善及び市	民一人1スポーツの推進が図らる。							
定性)										
(5)費用	対効果結果	果(自動判定	<b>Ē</b> )							
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	った指標数 うない指標数	0指標	1		悪のは下が、サ	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の		っぱい指標数_	0指標 0指標	-	費	費用は下がった		0		
旨標値増減)		指標全体		]	用	費用が増加した				
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 旦金が増加傾向である	見等を踏まえた検討課題、費用対	対効果に	可上のための	課題			
			えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
,				取組説明						
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	と上げるための 見直し検討 効率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討 の事務改善の検討							

1 — —				./\/\\						
事業名	県民スポ	パーツ大会		実施計画事業or一般事業	—f		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		<u> </u>		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情	<b>手報</b> 部		4° ₩ΦΠ	マ符中市世石		会計	άЛ	古米計画	出左座	たい Fi
	<u>部</u> 課	産業文化スポーツ推進		予算中事業名	予算			事業計画 新規or継続	単年度線 継続	
	<u>қ</u>	市民スポーツ		県民スポーツ大会参加事業		項		市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的	的事業
攺策体系	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	S 59	実施方法	直	
	政策 施策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		期間	終了年度		事業分類	参画	事業
<b>2.事業</b> 概 (1)事業	<b>狂要と目的</b> 及 美概要	及び(基本計	画期間内)目標値							
『学概要』県民スポーツ大会に参画する。										
(2)目的	9			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に	「県民ひとり	) 1 スポーツの	推進」をスローガンとして、広く県民の間にス	本市代表選手数	人	336	336	336	336	336
	ポーツを振り	興し、生涯にれ	)たり健康や体力の保持増進を図るととも							
	に、連帯感	あふれた地域	づくりに寄与する。							
状態)										
<b>3.前年度</b> (1)活動		活動及び費用	<b>月対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ		事業費の持	<b>維移</b>			
(1) /113/	324,54			活動指標	単位	R3	R4	R5		
				開催協議数	競技	_	_	24		
	IC 1 10 0 -	- 10 1 .		刑作  加議女	况允1又	_	-	24	1	
イエーナルキ		スポーツ大会	15日(日)、10月22日(日)							
R5年度に		5和5年10月。 5木県総合運								
テった主な活 動内容)			上競技、軟式野球等 18競技	事業費計	千円	0	0	197		
到四台)	オ	ープン競技	∖ッケ−等 6競技	一般財源	千円			197		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
				(, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					İ	
(3)活動	かによる効果	<u> </u>		(4) 事業効果を説明する数			D.4	D.F.	↓選択して	
				効果指標 本市代表選手数	単位人	R3	R4	R5	指標の性質 値が大きいほど良い	R4とR5の比較 #VALUE!
効果説明	多種目で行	テわれる大会で	であり、市民一人1スポーツの推進に繋が	<b>本川 (政 送 丁 政</b>				229	IED ACTIONS	# VALUE:
(定量及び 定性)	る。 る。	3151005(12)	2000							
足注)										
(5)費用	対効果結	果(自動判定	E)	_						
		財源増減)	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果		がった指標数 らない指標数	0指標 0指標		費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 旨標値増減)		がた指標数	0指標		用	費用の増減無し				
4. 次年度	<b>をに向けた</b> 検 ] 5 年度の		効果は変わらない 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を 対象を	  等を踏まえた検討課題、費用文		費用が増加した	課題			
寺記事項な	:U									
(2) 上讀	尼安省点及	び課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	T∇約□並用	İ					
取組説明  事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事業効果を上げるための事務改善の検討 事業費の見直し検討 業務時間効率化のための事務改善の検討 ロ 特に検討専項無し (担比後持入は担比の計画)番の)										

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

工争の派り返りノート、(市作り十)支大ルリノ										0, 1201			
事業名	佐野市ス	パーツ賞	表彰事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし			
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし			
L. 基本情				1		1			·				
	部	産業文化スプ		予算中事業名		会計		事業計画					
旦当組織	<del>誤</del> 係	スポーツ推進市民スポーツ		佐野市スポーツ賞表彰事業	予算 科目		_ ~	新規or継続 市単独or国県補助	継続 市単犯				
	<u>徐</u> 体系コード	222		根拠法令、条例等	竹田	目		義務or任意	任意的				
	基本目標		新たな流れの創造による賑わうまちづくり	(区)だ(人) (八 木) () (十	車業	開始年度		実施方法	直				
攺策体系	政策		スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度			イベント等				
	施策		生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備		743103	小( ) 干/又		于未乃及	1.014	加压护术			
<b>2. 事業</b> 概 (1)事業		なび(基本計	画期間内)目標値										
<b>『業概要</b>	業概要 スポーツ振興に著しく貢献された者に表彰を行う。												
(2)目的	ā			(3)目標値									
(2) ПР	,			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7			
目的				全国大会出場件数	件	165		130		165			
(本事業に	佐野市スポーツ立市推進計画に基づき、生涯スポーツのみならず、 競技力の底上げを図ることを目的とする。												
よって成し 遂げたい													
状態)													
,													
<b>3.前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	<b> 対効果)説明</b>	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の持	隹移		_				
				活動指標	単位	R3	R4	R5					
	スポーツ賞			スポーツ賞・特別賞授与団体	団体	0	1	1					
活動実績 🖟		人 団体 01	件			1							
	スポーツ特別賞 個人 3人 団体 1件 ジュニアスポーツ賞 小学生 69人 中学生62人 合計131人 表彰した。			スポーツ賞・特別賞授与個人	人	1	9	6					
				ジュニアスポーツ賞授与者	人	84	78	131					
うった主な活				事業費計	千円	174	245	422					
動内容)				—————————————————————————————————————	千円	174	245	422					
						1/4	243	722	1				
				特定財源(国・県・他)	千円								
				(うち受益者負担)	千円								
(3) 活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	が値デーク	か排移			↓選択して	下さい			
(3) /山野	IIC & S XIX			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質				
				全国大会出場件数	件	171	294	_		効果が上がった			
効果説明				Z11/(Z11 /// 1)		1,1	27.	333		7,31,44 = 1,4			
(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	活躍した選	手を表彰する	ことは、各選手の励みになると考える。										
定性)													
(5)費田	动动里结虫	果(自動判定	≘)										
	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果					
	効果が上が	った指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった				
/ · - · -	効果は変われ		0指標 0指標		費	費用は下がった							
旨標值増減)	効果が下が	指標全体	り担保 <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し	0						
	<b>ぎに向けた検</b> ] 5 年度の事	<b>i</b> 討	ける反省点、環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用な	対効果に	•	課題						
受賞対象者	香の調査にお	いて市内学校	で等の協力を得ており、調査方法の検討が。	必要。									
(2)上詞	己反省点及び	グ課題を踏まえ	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	Fro火口=KDP	 1								
	事業の左り	方倫計 /歳.ヒ	休止 再复成 恶头老鱼切不且声 おげ	取組説明	<u> </u>								
□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) □ 事業効果を上げるための事務改善の検討 □ 事業費の見直し検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討													